



2022年3月22日

お客様各位

濃飛倉庫運輸株式会社
海外物流部

新型コロナウイルスによる物流への影響 中国⑤

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスCOVID-19 中国地域の規制状況につきまして、以下の通りお知らせいたします。

地域によって状況が異なる為、全体的な内容をご連絡致します。

つきましては、各工場様に詳細のお問い合わせをお願い致します。

本日時点の更新情報をご案内致します。

記

●華南地域

・深圳市コロナウイルス対策の行政部門[2022]3号通知によると

深圳市のコロナウイルス対策の情勢は依然として厳しいが、特殊地域を除き、大部分の地域で継続して感染者数がゼロとなっている(中国では「動的ゼロ化」を言う)ため、コロナウイルス対策がコントロールされているとして、企業や行政部門、各機関などは正常な生産経営活動を回復し、バス、地下鉄も全面的に回復。公共場所への出入りは48時間以内のPCR陰性結果が必要。

→当該措置は(暫定的に)3/21から3/27まで実行。

・蛇口港の港湾情報

埠頭内の作業遅延によりコンテナの積み上げが増加している。

埠頭の運営が秩序正しく行われることを保障するため、SCT、CCT、MCTの各コンテナヤードは3月21日0時から、ETB-4(すなわち、船舶の寄港予定時間の4日間前)の輸出船積みコンテナのみ受け取り可。例えば、ETBが2022-03-25 00:00の場合、2022-03-21 00:00から実入りコンテナ搬入可能。

→そのうち、MCTについては、行政部門から公表情報は無いが、MCTで感染者が確認されたとの情報があり、多くの作業者が隔離されて、作業効率が非常に低下している。(港湾はほぼ封鎖・作業中止の状態とみられる。)

・上記が原因とみられる本船スケジュール変更が多発。

→YM CAPACITY V.016Nは3/14蛇口入港したが、7日後の昨日3/21の夜に出港。

→特にSITCは臨時調整を行い、月末までの本船が蛇口港の抜港を決定したとのこと。変更後本船の情報不通達が無い状況。

MCTの封鎖により、今後、船社は抜港や本船スケジュールにより、さらに大幅な遅延見込まれる。



・深圳市・東莞市において規制解除の通知が出ているものの、細かな地域、道路単位では規制が依然残っているため、工場様毎に工場からの出荷、港湾までの輸送ルート、本船の入出港情報を要確認。

●華東地域

・上海⇄外地 道路状況

出入可能、制限あり

①健康コード：緑色

②48時間 PCR 検査：陰性証明

・太倉⇄外地 道路状況

出入可能、制限あり

①健康コード：緑色

②48時間 PCR 検査：陰性証明

③太倉港 APP の事前申告

④ドライバー様と現場の無接触作業

・外高橋稼働状況(外五、倉庫)

通常通り作業、制限あり

①健康コード：緑色

②48時間 PCR 検査：陰性証明

●華北地域

・青島港

港湾:通常稼働

貨物の搬送とドレージ:運転手は 24 時間以内の核酸陰性検査結果が必要。

・煙台港

港湾:通常稼働

貨物の搬送とドレージ:運転手は 24 時間以内の核酸陰性検査結果が必要。

・石島港

港湾:通常稼働

貨物の搬送とドレージ:依然下記 2 点の規制は継続。

①.通行証明書が必要。

②.船積み日の前日午後、搬送トラック運転手の身分証明書番号、名前、携帯電話、車番号、核酸陰性証明書などの情報を港に事前に報告しなければならない。

※ただし、輸送ルート制限の中で、承諾書の提出があれば搬入可能とのこと。シッパー様へ要確認。

以上